

第12回 県内技術研究発表会(平成29年11月10日)

1. 目的

県内技術研究発表会は、島根県及び市町村の所掌する建設技術に関する調査・研究・開発の成果発表及び建設技術に関する創意工夫の提案等を行うことにより、建設技術の向上と普及を図ることを目的として毎年開催しています。

2. 主催者

公益財団法人島根県建設技術センター

3. 共催者

島根県建設技術協会
島根県農村振興技術連盟
島根県治山林道研究会
松江市建設技術協会

4. 結果

下表のとおり

	論文題名	所属	氏名	
1	糸川屋橋の検討及び施工事例について	出雲県土整備事務所	主任 石原 幸	
2	自然環境に配慮した林道施工について～林道北山線における事例～	松江県土整備事務所	主任 林 晋平	
3	傾斜地水田における作業省力化について	雲南県土整備事務所	主任技師 岡田 祐典	☆
4	島根県西部豪雨災害による降雨状況及びダムの洪水調節効果について	浜田県土整備事務所	企画員 主任 富永 昌司 松本 裕介	
5	松江城山公園本丸整備工事について	松江市	副主任 村田 求	
6	災害発生から査定までの取り組みについて	浜田県土整備事務所	技師 野津 豪	☆
7	地域に寄り添い、最小限の予算で最大限の効果を発現する道路改良 ～空き家対策とのタイアップ～	隠岐支庁県土整備局	技師 坂本 知佳	○

○ … 優秀賞

☆ … 聴講賞

5. 発表会の様子



発表会の様子



表彰式の様子

平成29年度 県内技術研究発表会 日程表及び発表論文の概要

- | | |
|-----------------|--------|
| 1. 開会 | 10:30 |
| 2. 挨拶 | 10:30～ |
| 3. 発表会における留意事項等 | 10:40～ |
| 4. 研究発表会 | 10:45～ |

1	10:45～	<p>【糸川屋橋の検討及び施工事例について】／一般部門(設計・施工管理) 出雲県土整備事務所 土木工務部 都市整備課 主任 石原 幸</p> <p>都市計画道路中町瑞穂大橋線は一般県道平田庄原線のうち、斐伊川に架かる瑞穂大橋から一般県道小伊津港線までの延長1340mの道路である。現在進めている中町瑞穂大橋線(2工区)は、広域河川改修計画が進められる平田船川(湯谷川)を横断するため、糸川屋橋の付け替えを行っているところである。 糸川屋橋の設計においては、架橋位置に経済的かつ所要の条件を満たす橋梁を設計した。また、湯谷川には、絶滅危惧種ミナミアカヒレタビラが生息しており、橋梁計画においては、ミナミアカヒレタビラの保全に留意しながら計画を行った。今回は、これらの内容及び実際の施工について報告する。</p>
2	11:10～	<p>【自然環境に配慮した林道施工について～林道北山線における事例～】／一般部門(林道) 松江県土整備事務所 農林工務部 治山・林道課 主任 林 晋平</p> <p>鳥根県松江市の森林管理道「北山線」は、効率的な原木生産を行う上で重要な路線であり、幅員4.0m、全長6,549mの計画で現在施工中である。本路線は、起点から終点まで全線が県立自然公園内を通るため、開設当初より自然環境に配慮した施工を実施してきたので、これまでの取り組みについて紹介する。</p>
3	11:35～	<p>【傾斜地水田における作業省力化について】／一般部門(ほ場整備) 雲南県土整備事務所 農林工務部 ほ場・防災課 主任技師 岡田 祐典</p> <p>傾斜地の水田においては草刈りや水管理に多大な労力を要し、農作業中の事故も多く発生していることから、作業中の安全性向上、草刈り・水管理の省力化を目的としたほ場整備を実施した。その事業内容について報告する。</p>
12:00～		昼食・休憩:60分
4	13:00～	<p>【鳥根県西部豪雨災害による降雨状況及びダムの洪水調節効果について】／一般部門(治水ダム) 浜田県土整備事務所 維持管理部 ダム管理第二課 企画員 富永 昌司、主任 松本 裕介</p> <p>平成29年7月豪雨の治水ダム効果を検証するとともに、ダム情報通知先関係機関等からの聞き取りを元に、昭和58年・63年災害時と現在の関係者等の意識変化を検証し、どのような情報が必要とされ、関係機関等との連携が図れるのか等、その課題について考察する。</p>
5	13:25～	<p>【松江城山公園本丸整備工事について】／一般部門(公園・造園) 松江市 歴史まちづくり部 公園緑地課 副主任 村田 求</p> <p>松江のシンボルであり、また平成27年7月には国宝指定となった松江城天守が位置する松江城本丸は、サクラ類が植えられ、「日本さくら名所百選」にも選ばれている。しかし、近年老木化や樹木病の蔓延により多くの樹木が枯損している。松江市では平成26年にサクラ類の調査、診断を行い基本計画を策定、平成27年に本丸地区の園路・側溝改修も含めた実施設計を行った。 平成27年からは、実施設計を基にサクラ類の樹勢回復、補植、園路改修の工事を開始している。工事にあたっては、文化財保護の関係上での制約や、天守閣国宝化に伴う観光客数の増加するなかで様々な施工上の工夫を行っている。今回の発表では、整備工事の概要や施工内容を紹介する。</p>
13:50～		休憩:10分
6	14:00～	<p>【災害発生から査定までの取り組みについて】／一般部門(災害) 浜田県土整備事務所 土木工務部 土木工務第三課 技師 野津 豪</p> <p>平成29年7月4日から平成29年7月5日の梅雨前線豪雨により、浜田市全域で大きな被害を受けた。発生直後の初動、被災状況の調査および災害査定に向けた被災原因の特定・復旧工法の選定をしていくなかで、若手職員目線で感じたこと、学んだことおよび今回の経験を踏まえた今後の取り組み方について述べる。</p>
7	14:25～	<p>【地域に寄り添い、最小限の予算で最大限の効果を発現する道路改良～空き家対策とのタイアップ～】／一般部門(設計・施工) 隠岐支庁県土整備局 島前事業部 工務第一課 技師 坂本 知佳</p> <p>(一)海士島線東地区は、海士町役場や観光地である隠岐神社に近く、家屋連担地区でもあるため、島内では車両及び歩行者の通行が多い区間である。しかしながら、県道の幅員が狭く、視距の確保や車両のすれ違いが困難な箇所が多く存在している。 このような状況において、地元から要望が挙がっている県道の安全・安心利用のため、海士町にて計画・実施をしている空き家対策とタイアップし、県道拡幅の計画・待避所整備として一部施工を行った事例について報告する。</p>
14:50～		休憩:10分

- | | |
|--------------------|--|
| 5. 意見交換／聴講賞投票／表彰選考 | 15:00～ (※特別講演「水力発電のリニューアルについて」:企業局施設課) |
| 6. 表彰及び講演 | 15:30～ |
| 7. 閉会 | 15:50 |